

活気ある呉を取り戻す対策について

同志会
谷恵介議員



議員…活気をもたらすための将来展望は？

市…若者が集い、にぎわつまちの実現に取り組む

問 拠点整備

呉市内の駅で、エレベーター等のバリアフリー化がされていない駅は、呉駅から西に5駅、広駅から東に4駅あります。そのため、未整備の駅では、線路を挟んで海側と山側に集落が分断され、高齢者や乳幼児等を抱えた家族が気楽に利用できる環境になく、拠点整備にとって重要な課題となっています。本来は鉄道事業者が整備すべきことですが、呉市が独自の基準を定めて直接改善していくことはできないでしょうか。



バリアフリー化された新広駅

必要があるため、基準を設けるというよりもまずは整備の優先順位を定め、個別の具体的な整備手法について研究していききたいと考えています。

問 人口増対策

人口を増やすためには呉市内の雇用を増やすことも大切です。そのためには、行政が発注する仕事は安ければよいというのではなく、地元業者を育成し、実態に即した発注を行い、受注しやすくする発注方法を考慮する必要がありますが、地元業者を育成するために契約面でどのような優遇措置をとっていますか。

答

地元業者が受注可能なものは、基本的に地元業者への発注を心がけています。今後も公平性、競争性、透明性を確保しつつ、地元業者が受注しやすい発注方法の研究を行い、育成に努めます。

答

全ての駅でのバリアフリー化は必要だと認識していますが、市が費用負担を行う場合であっても、整備後の維持管理も含めた鉄道事業者との協議を整える